

NPO/NGO アジア キッズ ケアだより

【住所】〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原 1054-3 【発行者】代表:喜安美紀 【発行日】2019. 4. 20(通巻第 16 号)
【HP】<http://www12.plala.or.jp/asian-kids-care/> 【E-mail】kids@zpost.plala.or.jp 【団体設立】2004. 2. 11
【TEL】090-5912-4515 【郵便振替】口座番号: 01600-5-13009 口座名義: NPO法人アジアキッズケア
【ゆうちょ銀行】店番:169、店名:一六九店、口座番号(当座):0013009、受取人名:NPO法人アジアキッズケア

「アジアキッズケアの現地協力者は、どういった方々ですか?」・・・現地で誰が支援物資を受け取り、どのように配布するかは、支援の成否を左右するキーワードです。当団体では、日本で一緒に支援活動を行った留学生がそれを担い、帰国後も無償で協力してくださっています。留学生の「私の国に貧しくて困っている子供たちがいます。私と家族が協力しますので、支援物資を送ってください。」等の要請によって手を繋ぎ、15 か国に広がりました。現地を一番理解して子供救済を願う方々との連携、日本の皆様のご協力・ご支援を心から感謝します。

2019. 4. 20

NPO法人アジアキッズケア 代表:喜安 美紀

荷造りボランティアを継続 15 年・・・支援物資の送付は 15 か国、1034 箱に

この 1 年間、アジアやアフリカの子供たちに支援物資(衣類、文具、楽器、日用品等)を次のように発送しました。

- ・2018. 5 フィリピン(大4)
 - ・2018. 7 ウガンダ(4)
 - ・2018. 9 マラウイ(5)
 - ・2018. 11 インド(8)
 - ・2018. 12 フィリピン(大2)
 - ・2019. 1 バングラデシュ、マリ(5)
 - ・2019. 3 インドネシア(6)
- ※支援物資の送付実績 1034箱、送料経費総額 6,356,071円(2019.4 現在)

<支援物資のご提供をお願いします> ※私たちのまごころを添え、「ハンド to ハンド」で届けます

子供たちに送る支援物資として、夏物衣類(子供～大人用:Tシャツ・ジーンズ・体操服等)、文房具(ノート類、筆記具、消しゴム、定規等)、楽器(ピアノカ等)、通学用バッグ、バスケット・サッカーボール等のご提供をお願いします。※夏物衣類は洗濯して汚れやほころびのない物 ※現在、金属類・冬物衣類は受入ができません。

インドネシアと日本との絆・・・まごころ込めて被災者に届けました

インドネシアの地震・豪雨等の被災者に届ける支援物資の荷造りボランティアを2019年2月に行いました。インドネシアから来日し、愛媛大学大学院で学ぶ留学生及び家族8名(左写真)とご一緒に。留学生から自己紹介や母国の現状を教えていただき、持参又は提供された衣類・文房具・雨具などをまごころ込めて箱詰めしました。

被災された方々のお役に立ちたいと願いつつ、みんなの心が一つになりました。留学生との会話や交流の中で、彼らから「ありがとう」「とてもうれしい」の言葉が何度も溢れました。インドネシアと日本、友人の絆を感じながら、参加者の気持ちが温かくほっこりと和みました。インドネシアは、15か国目の支援国になりました。



インドネシアの地震・津波被災者に贈る支援物資が、4月現地に無事到着。インドネシア留学生とアジアキッズケアのボランティアの皆様との協力と連携、お互いが感謝の気持ちで手を繋いで実現しました。今後、現地のアグス・スキトさん(左から2番目写真)を中心とした支援チームにより配布されます。※後日詳細を報告します



ぬいぐるみ等をフィリピン貧村の子供たちにプレゼント … みんな笑顔に

フィリピンの子供たちの笑顔が溢しました!!! 2019年2月にミンダナオ島の貧村を訪問して、ぬいぐるみ・衣類・ノート等の文房具・バッグ等をプレゼントしました。今回の支援活動では、(公財) 関奉仕財団、(株) ムラタ、(株) 電通西日本などの他、国境を越えてたくさんの皆様のご協力をいただき、本当に感謝いたします。

現地協力者のアウレリオ氏(サラングニ州教育委員会・牧師) やエドワード氏(国立ミンダナオ大学准教授) と連携して、ジェネラル・サントス郊外にある教会やサラングニ州の貧村の小・中学校で配布しました。



フィリピンでは、南に行くほど貧しくなると言われています。ご提供のあった支援物資をまごころ込めて手渡し、彼らは「サンキュー!! サラマボ!!」の感謝の言葉とともに、みんなが笑顔になりました。



マラウィ孤児も一緒に配布活動 … 大学等に進学、将来の支援リーダーに

現地協力者モーゼス氏(左写真・マラウィ政府農業科学者)と一緒に、孤児も配布活動に参加。現在、サポートを受けている中等教育学校4年のコンドワニくん(右写真)は、卒業認定試験を受け大学進学希望です。彼らが中・高等教育を受けて就職・自立し、同じ境遇の孤児を救済する支援リーダーになることが私たちの夢です。

マラウィの教育制度は、初等教育8年、中等教育4年、大学等の高等教育4年です。初等学校入学後、2年生への進級は62%、5年生到達は34%、8年生で卒業認定試験に合格(約7割)すれば卒業ですが、教育事情は厳しいです。中等教育からは学費が必要で、経済的理由で断念する家庭も多く、高等教育修了者はさらに狭き門が現状です。



<荷造りボランティアに参加してみませんか>

【実施日時】偶数月の第3日曜日:14時~16時 【実施場所】アジアキッズケア事務所・駐車場あり

小学生から大人まで参加し、留学生による母国紹介の他、楽しい国際交流や国際支援活動の場になっています。

※できれば、支援物資(夏物衣類、文房具、ピアノカ、バッグ、バスケット・サッカーボール等)をご持参ください。

貧困の子供たちの希望をつなぐ教育・生活サポート(毎月3000円)

貧困の子供たちが学校に行くために、教育・生活支援をしてくださるサポーターを求めています。彼らの自立を実現することによって、家族、地域を支えることにつながります。私たちが目指しているのは、将来彼らが同じ境遇の子供たちを支える現地リーダーになって、支援を継続して繋いでいく後継者となることです。

フィリピン、インド、マラウィ、ケニアなどの子供たちに対して、信頼できる現地協力者とともに、彼らの夢と希望を実現し、自立につながるサポート活動を行っています。 ※申込みは、団体HPよりお願いします